

発行元 シーカ・ジャパン株式会社
東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂 K タワー7 階
<http://jpn.sika.com/>

問い合わせ先 シーカ・ジャパン(株)
コミュニケーションズ 北口

E-MAIL kitaguchi.mari@jp.sika.com

発行日 2026 年 8 月 5 日
ページ 1 / 2

シーカ・ジャパン、日本初*の自己粘着層付塩ビシート防水材 「Sarnafil® G 410-15 SA Feltback」を上市

シーカ・ジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:アマン・マルコ)は、日本初*の自己粘着層付塩ビシート防水材「Sarnafil® G 410-15 SA Feltback」を上市しました。本製品は、「剥がして、貼って、圧着、完成」のシンプルな施工を特長とし、防水改修における施工性、耐風圧性能、省エネルギー性を兼ね備えた新たな選択肢を提供します。

建物の防水改修では、下地の状態、建物の用途、施設の稼働状況、周辺環境への配慮などに応じて、さまざまな工法が選択されています。近年では、居住中の建物や稼働中の工場、病院、学校、営業中の施設などにおいて、施工時の騒音・振動・粉塵の低減や、工期短縮、施工中の漏水リスク低減が重要な検討事項となっています。

「Sarnafil® G 410-15 SA Feltback」は、離型フィルムを剥がし、下地へ貼り付け、圧着することで施工できる自己粘着型の防水シートです。接着剤の塗布・乾燥養生や平場部でのアンカー施工を抑えられるため、従来からの防水改修工法に加え、現場条件に応じたより柔軟な工法選定を可能にします。従来工法に比べて 50%以上の施工工期短縮を実現します。



「剥がして、貼って、圧着、完成」

* 当社調べ。自己粘着層を備えた塩ビシート防水材として

メディアリリース

BUILDING TRUST



発行元 シーカ・ジャパン株式会社
東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂 K タワー7 階
<http://jpn.sika.com/>

問い合わせ先 シーカ・ジャパン(株)
コミュニケーションズ 北口

E-MAIL kitaguchi.mari@jp.sika.com

発行日 2026 年 8 月 5 日
ページ 2 / 2

本製品を用いたシステムは、全面接着構造により風の吸い上げ力を面全体で分散し、機械的固定工法に比べて最大約 3.5 倍、最大 30,000N/m²の固定強度を発揮します。さらに、高反射ホワイト仕上げにより最大 90%以上の日射反射率を有し、断熱材との組み合わせにより屋根表面温度を最大約 30℃低減することが可能です。また、下地条件に応じて、既存防水層の撤去を抑えた改修にも対応し、廃材削減や施工時の環境負荷低減にもつながります。金属屋根改修においては、金属カバー工法と比較して上載荷重を約 1/3 に低減できるため、既存構造への負担を抑えながら建物の長寿命化に寄与します。

Sarnafil® G 410-15 SA Feltback の詳細は、以下をご覧ください。

[Sarnafil® G 410-15 SA Feltback](#)

シーカについて

シーカは、建設および工業分野において、接着、シーリング、制振、補強、保護のためのシステムおよび製品の開発と製造で世界をリードする特殊化学品メーカーです。世界 103 か国に子会社を有し、400 を超える工場で生産を行い、世界中の顧客に向けて革新的な技術を開発しています。また、シーカは建設および輸送分野の環境適合型への転換において重要な役割を果たしています。

2025 年には、33,700 名の従業員により、売上高 112 億スイスフランを達成しました。